

第2分科会通級による指導（発達障害通級）

巡回指導における 連携の在り方

2026年10月16日

新潟県 新潟市立荻川小学校
発達通級指導教室（まなびの教室）

鈴木 綾子



自己紹介

現在 通級指導担当 5年目です

○ これまで

新潟県南魚沼市（六日町、塩沢）で新採用から8年勤務（通常学級担任）

新潟市南区 小学校で5年（特別支援学級担任）

西蒲区 小学校で9年（特別支援学級、大学院派遣、通常学級）

○ 新潟市立荻川小学校

発達通級指導教室（まなびの教室）を担当

令和4年度 教室新設時に赴任して、5年目



お話させていただく内容

I 実践にあたって

新潟市の通級指導

II 実践内容

1. 市教育委員会、他巡回指導担当者との連携
2. 在籍校との連携
3. 保護者との連携

III 成果と今後の課題

I 実践にあたって

新潟市の通級指導

新潟市の通級指導教室リーフレット

○新潟市教育委員会作成 保護者向け

通級指導教室の役割

通級指導教室は、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行い、通級で学んだことを学校生活や家庭生活等で生かし、学習や生活での困難を改善したり、克服したりすることを目指します。そのために、以下の役割を担います。

○ 通級による個別の指導計画の作成と指導

通級に通う児童生徒やその保護者の思いは様々です。一人一人の思いや願いなどに耳を傾け、寄り添いながら、どのような指導や支援がよいのかを考えます。一人一人に、適切な確かなアセスメントを実施し、状態に即した個別の指導計画を作成して、計画的に指導を行います。

○ 保護者との協働

保護者のニーズや疑問、不安に寄り添い、相談や助言、情報の提供等を行います。通級での指導のねらいを保護者と共有し、一緒に学校生活や家庭生活、子育て等について考えていきます。

○ 在籍校との連携

児童生徒が、自信をもって充実した学校生活を送ることができるように、在籍校の先生方と個別の教育支援計画や個別の指導計画について共通理解し、連携して指導を行います。児童生徒の状況や状態に応じて、在籍校訪問、特別支援教育コーディネーターや学級担任との懇談、校内委員会への参加、理解啓発のための出前授業、担任支援等を行っています。

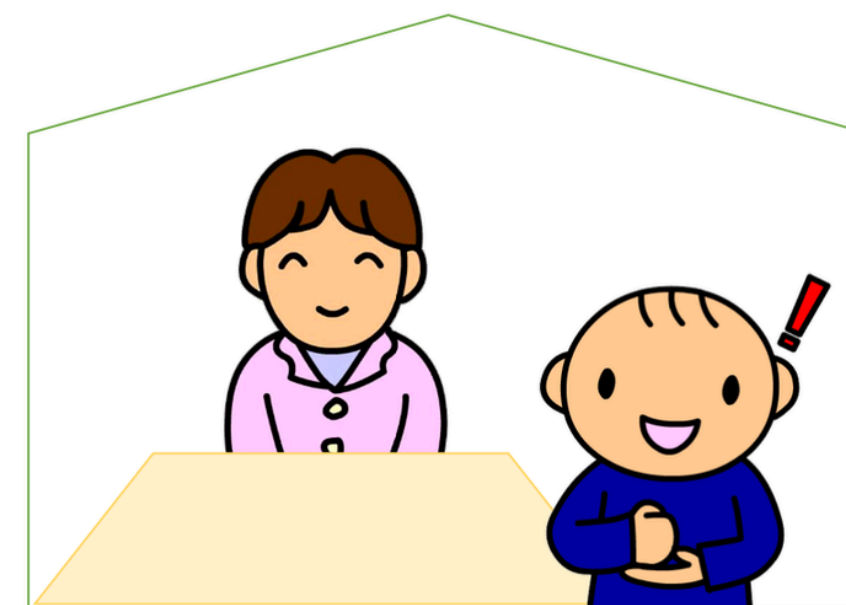
○ その他関係諸機関との連携

行政、医療機関、療育機関等専門機関とも連携しながら、児童生徒の全体像を的確に把握し、本人の自己実現が図られるようにしていきます。

令和8年度

知っていますか？ 通級指導教室のこと

新潟市の通級指導教室のご案内



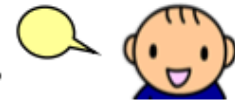
新潟市教育委員会

通級指導教室・「通級による指導」とは？

文部科学省調査では、「特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、通常の学級に8.8%在籍する」とされ、「通級による指導」のニーズは、年々高まっています。新潟市では、「ことば」、「きこえ」、「まなび」の通級指導教室を設置しています。「ことば」と「きこえ」の通級指導教室は小学校に、「まなび」の通級指導教室は、小学校、中学校、高等学校に設置しています。「通級による指導」は、通常の学級に在籍する児童生徒が、大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について、学習上又は生活上の課題の改善・克服を目的とした指導（自立活動の指導）を「通級指導教室」で受ける指導の形態です。通級する時間帯は、学級の授業時間と放課後の時間も使えます。「通級による指導」は、通級による指導の必要が認められた場合に年度途中でも開始となり、学習上又は生活上の課題が改善・克服されれば、年度途中でも終了します。



「ことばの教室」って どんなところ？何をするの？



Q1 どんな子どもたちが通っていますか？

発音が誤っている、吃音（きつ音）があつて困っている、言いたいことが適切な言葉で言えない、話の内容がよく理解できない等によって、話し言葉や言語発達による学習上又は生活上に支援が必要な子どもが通っています。

Q2 どのように指導を行うのですか？

個別の指導計画に基づき、週1回1単位時間（45分）、1対1の個別指導を基本として、個の課題から設定した指導を行います。吃音指導は、小人数グループで行う場合もあります。

<具体的な指導内容例>

- 正しい発音を獲得するための指導（構音指導）
- 正しい音と誤っている音の聞き分け練習（耳の訓練）
- 音韻意識（語音を正しく認識し操作する力 逆唱等）
- 吃音を正しく理解する学習、環境調整（吃音理解）
- 吃音が出にくい話し方の練習（流暢性形成）
- 発話意欲を高める働き掛け（コミュニケーション）
- 語の理解と使用（語い指導）
- 平仮名・片仮名の読み書き など

Q3 担当が「ことばの教室」で大切にしていることは？

オーダーメイドな授業をつくり、一人一人のニーズに応じます！子どもとかかわる期間は、短くて2～3か月、長くなれば卒業までと、期間の長短はありますが、毎回の授業での子どもの反応を丁寧に見取り、一人一人に応じた授業をイメージします。構音障がい吃音、そして学習言語の支援と多岐に渡る内容について支援し、子どもの自信を育みます。活動に前向きに取り組む、努力する子どもを見守り、応援します。

「きこえの教室」って、 どんなところ？何をするの？



Q1 どんな子どもたちが通っていますか？

「きこえ」にニーズのある子どもが通っています。「きこえ」と一言でいってもその程度や聞こえ方は一人一人違います。補聴器や人工内耳を装用している場合が多いですが、片耳難聴や軽度難聴の子どもも通っています。

Q2 どのように指導を行うのですか？

個別の指導計画に基づき、週1回1単位時間（45分）～2単位時間（90分）の指導を行います。少人数のグループ学習や難聴のある子どもたちの交流会を行う場合もあります。

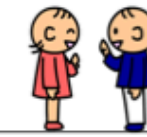
<具体的な指導内容例>

- 補聴器や人工内耳を活用しての聞き取りの力を伸ばす指導（聴能指導）
- 語いを増やしたり、言葉を正しく使ったりすることの指導（言語指導）
- 聴力の変動、補聴器・人工内耳が正常に作動しているかのチェック（聴覚管理）
- コミュニケーションに関すること
- 障がいの理解や自己理解に関すること など

Q3 担当が「きこえの教室」で大切にしていることは？

関係機関と連携して一人一人の「きこえ」のニーズに対応し、「分かる」「できる」「伝わる」をサポートします！「きこえ」のニーズに寄り添い指導・支援することで、自分の「きこえ」の状況を理解し、「こうすれば聞き取りやすい」「こうすれば分かる・できる」「こうすれば伝わる」を増やします。困難を改善・克服して前向きに頑張ろうとする子どもたちの成長を見守り、応援します。

「まなびの教室」って どんなところ？何をするの？



Q1 どんな子どもたちが通っていますか？

対人関係やコミュニケーション、感情や行動のコントロール、集中力、かん黙、特定の学習に支援が必要な子どもたちが通っています。子どもたちが、学校生活の中で成功体験をたくさんすることができるよう、支援します。

Q2 どのように指導を行うのですか？

個別の指導計画に基づき、小学校では週1回1単位時間（45分）、中学校では週1回1単位時間（50分）、高校では週1回2単位時間（1単位時間50分）の指導を行います。課題に応じて2～4人程度の少人数グループと個別指導を行います

<具体的な指導内容例>

- ボディコントロール、聞き取り課題、集中トレーニングなどの学習に向かう姿勢づくり
- ソーシャルスキルトレーニング
- 対人スキル、会話スキル
- 気持ちの表出やコントロールに関すること
- 自分の特性等、自己理解に関すること
- 特性に応じた学び方や本人に合った読み書き計算など 学び方に関すること など

Q3 担当が「まなびの教室」で大切にしていることは？

保護者や学級担任と連携し、子どもの気持ちに寄り添いながら支援を重ねるなかで、成長する子どもを支援します！子どもの気持ちに寄り添いながら、保護者や学級担任と連携してニーズに応じた指導を展開します。保護者や学級担任と課題を共有し、一緒に支援方法を探り、同じ方向で支援していきます。そのなかで、子どもが自分なりに課題をとらえて成長する姿を見守り、応援します。

知っていますか？ まなびの教室のこと

新潟市では、まなびの教室(発達通級指導教室)を小・中・高等学校に設置しています。まなびの教室は、通常の学級に在籍する児童生徒が、大部分の授業を通常の学級で受けながら、学習上又は生活上の課題の改善・克服を目的とした「自立活動の指導」を「通級指導教室」で受ける指導の形態です。

学習だけでなく、日常生活や友達関係での困りごとに関しても解決できる指導が行われるため、学校を卒業した後も役に立つスキルを身につけることができます。

担当者は、子どもが自分と向き合い、課題に取り組み、成長する姿を見守り、子どもが自分の良さに気がつけるよう、子どもの気持ちに寄り添いながら、保護者や学級担任と課題を共有し、連携して一緒に支援方法を探り、同じ方向で支援します。



まなびの教室の役割

まなびの教室は、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行い、通級で学んだことを学校生活や家庭生活等で生かし、学習や生活での困難を改善したり、克服したりすることを目指します。

○ 個別の指導計画の作成と指導

通級に通う児童生徒一人一人の思いや願いなどに耳を傾け、寄り添いながら、指導や支援を考えます。

適切なアセスメントを実施し、個別の指導計画を作成して、計画的に指導を行います。

○ 保護者との協働

保護者のニーズや疑問、不安に寄り添い、相談や助言、情報の提供等を行います。通級での指導のねらいを保護者と共有し、一緒に学校生活や家庭生活について考えます。

○ 在籍校との連携

児童生徒が、自信をもって充実した学校生活を送ることができるように、在籍校と個別の指導計画について共通理解し、連携して指導を行います。



新潟市教育委員会

まなびの教室ってどんなところ？ 何をするの？

対人関係やコミュニケーションが苦手、感情や行動のコントロールがうまくできない、集中が続かない、などで困っている子どもたちが利用します。子どもたちに成功体験がたくさんできるよう、学校生活を想定し、担当者と共に考え、学びます。

学習活動の一例です。



- ボディコントロール、集中トレーニング、学習に向かう姿勢づくり
- 人との関りや社会性を育むソーシャルスキルトレーニング
- コミュニケーション力を高める対人スキル、会話スキル
- 気持ちの表出や感情のコントロール
- 自分の得意不得意や個性の自己理解

個別の指導計画に基づき、週1回程度の指導を行います。課題に応じて、少人数グループでの指導と個別指導があります。通級の時間帯は、学級の授業時間と放課後の時間から選択できます。通級による指導は、年度途中でも開始となり、課題が改善されれば、年度途中でも終了します。

担当者が子どもの在籍する学校を訪問して指導を行う「巡回指導」が令和6年度からスタートしました。



令和8年度 まなびの教室 設置校

区	学校名	設置教室	区	学校名	設置教室	区	学校名	設置教室
北	松浜小学校	まなび	中央	鏡淵小学校	ことば・きこえ・まなび	南	白根小学校	ことば・まなび
	太夫浜小学校	まなび・巡回		万代長嶺小学校	ことば・きこえ・まなび		茨曽根小学校	まなび・巡回
	葛塚東小学校	ことば・きこえ・まなび		新潟小学校	まなび・巡回		小林小学校	まなび・巡回
東	東山の下小学校	ことば・まなび	中央	沼垂小学校	まなび・巡回	西	日井小学校	まなび・巡回
	竹尾小学校	まなび		桜が丘小学校	まなび・巡回		月潟小学校	まなび・巡回
	大形小学校	まなび・巡回		紫竹山小学校	まなび・巡回		大通小学校	まなび・巡回
	東中野山小学校	まなび・巡回		浜浦小学校	まなび		白根北中学校	まなび
	南中野山小学校	まなび・巡回		関屋小学校	まなび・巡回		小針小学校	ことば・まなび
	江南小学校	まなび・巡回		日和山小学校	まなび・巡回		内野小学校	ことば・まなび
	石山中学校	まなび		鳥屋野小学校	まなび・巡回		黒崎南小学校	まなび
江南	亀田西小学校	ことば・まなび	中央	有明台小学校	まなび・巡回	西	西内野小学校	まなび・巡回
	東曽野木小学校	まなび・巡回		白新中学校	まなび		大野小学校	まなび・巡回
	横越小学校	まなび・巡回		関屋中学校	まなび・巡回		立仏小学校	まなび・巡回
秋葉	新津第一小学校	ことば・きこえ・まなび	中央	鳥屋野中学校	まなび・巡回	西蒲	小新中学校	まなび
	矢代田小学校	まなび・巡回		寄居中学校	まなび・巡回		巻南小学校	ことば・きこえ・まなび
	荻川小学校	ことば・まなび		上山中学校	まなび・巡回		曾根小学校	まなび・巡回
	新津第二小学校	まなび・巡回		高志中等教育学校	まなび・巡回		中之口西小学校	まなび・巡回
	結小学校	まなび・巡回		明鏡学校	まなび		巻北小学校	まなび・巡回
	阿賀小学校	まなび・巡回		万代高等学校	まなび・巡回		巻東中学校	まなび・巡回

不明な点は、特別支援教育課(Tel. 226-3267)までお問い合わせください。

I 実践にあたって

新潟市の通級指導

令和6年度 巡回指導開始

- 令和6年度の巡回指導の開始から、現在3年目
- 拠点校の担当者は、近隣の巡回校3校を訪問
- 年々、巡回指導の拠点校、巡回校が増えている

【他校通級のイメージ】



【巡回指導のイメージ】



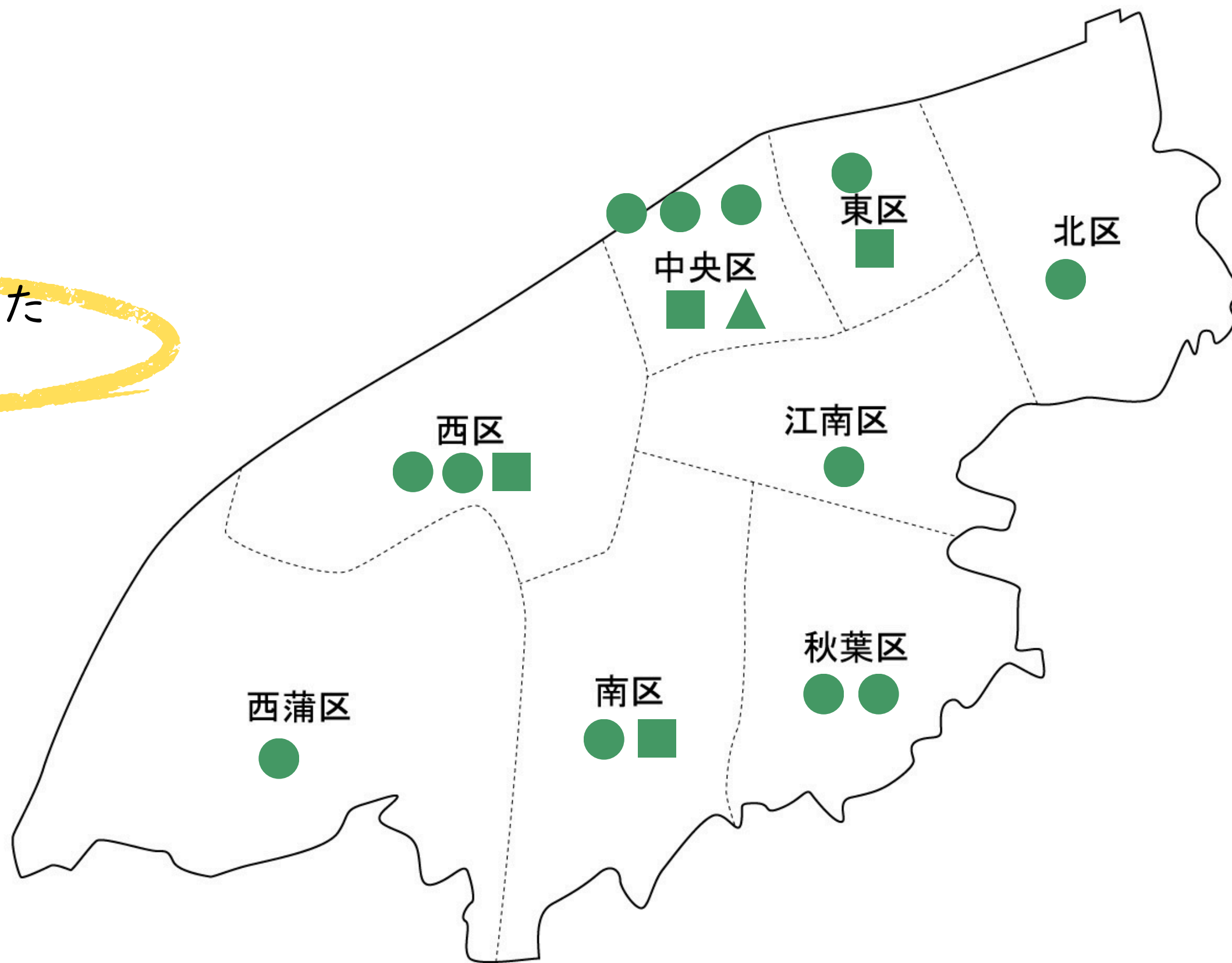
I 実践にあたって

新潟市の通級指導

令和5年度の発達通級指導

令和5年度までに設置された
発達通級指導教室

- 小学校
- 中学校
- ▲ 市立高等学校



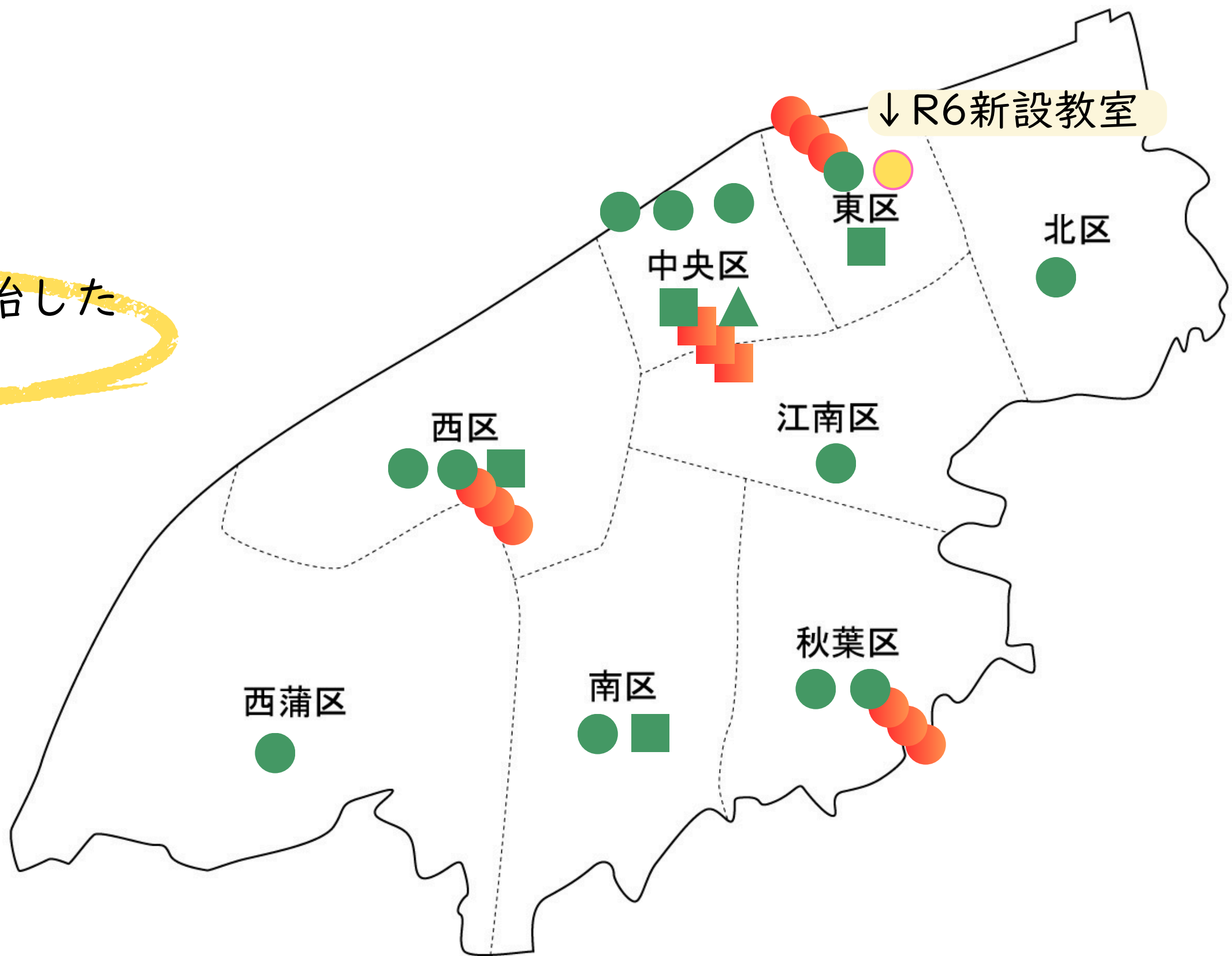
I 実践にあたって

新潟市の通級指導

令和6年度 巡回指導開始

令和6年度に巡回指導を開始した
発達通級指導教室

- 小学校
- 中学校



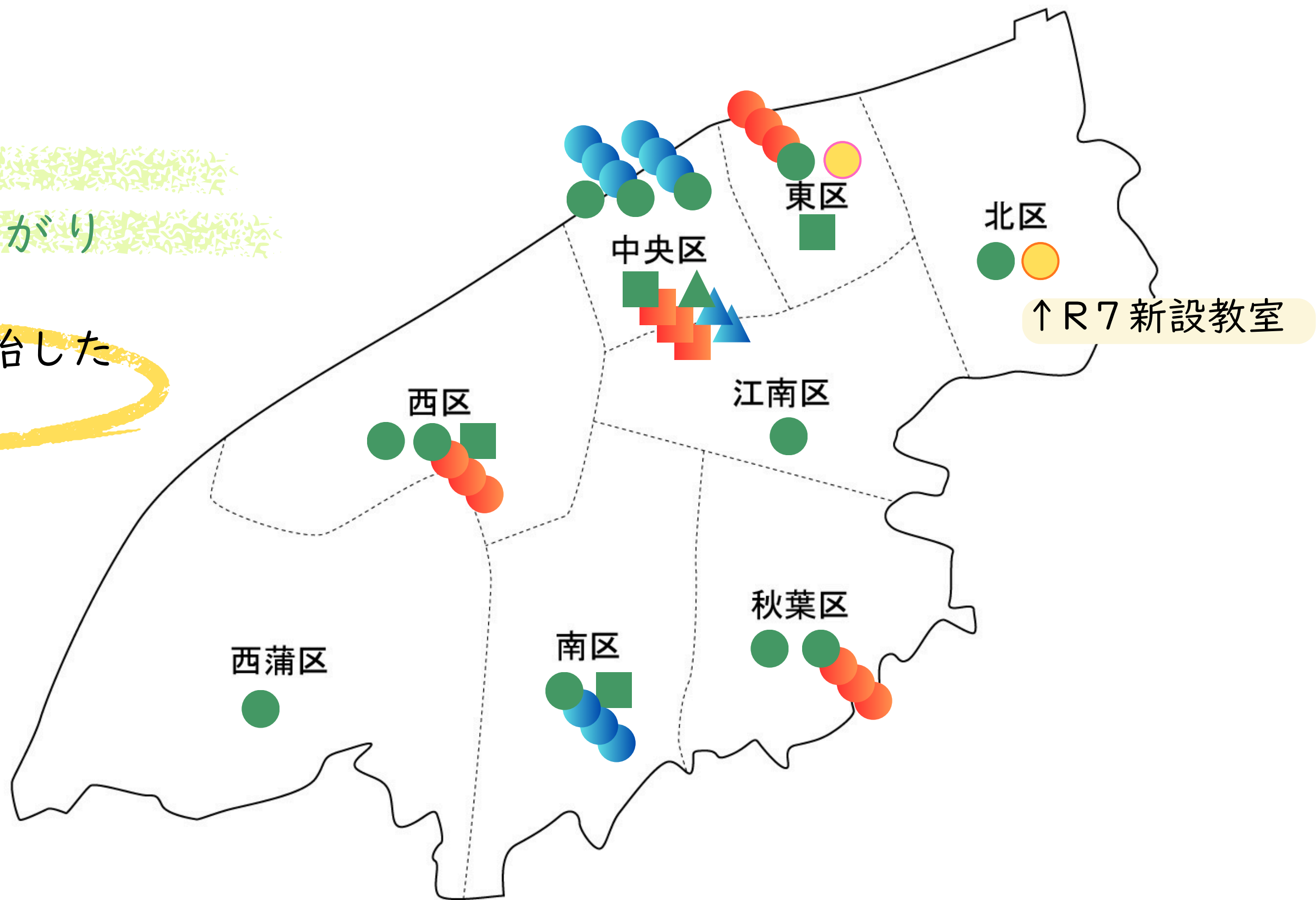
I 実践にあたって

新潟市の通級指導

令和7年度
通級指導・巡回指導の広がり

令和7年度に巡回指導を開始した
発達通級指導教室

- 小学校
- ▲ 市立高等学校



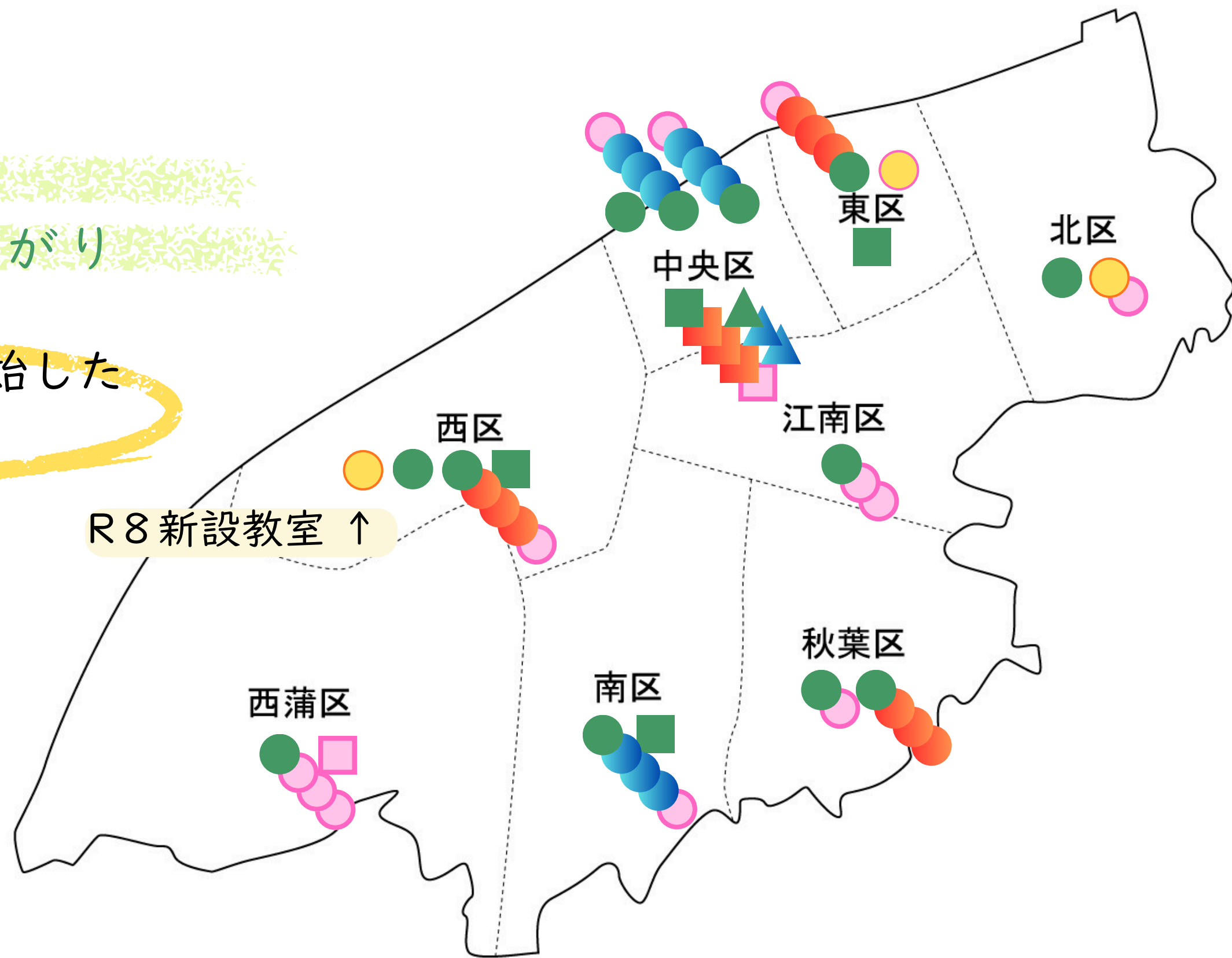
I 実践にあたって

新潟市の通級指導

令和8年度
通級指導・巡回指導の広がり

令和8年度に巡回指導を開始した
発達通級指導教室

- 小学校
- 中学校



I 実践にあたって

新潟市の通級指導

巡回指導開始から3年目

- 巡回指導の拠点校は、現在小10校、中2校、高1校
- 拠点校の担当者は、近隣の巡回校1校～4校を訪問
- 年々巡回指導の拠点校、巡回校が増えている

- 希望する児童生徒が、
自校の通級指導教室で
指導を受けられることを目指す

【他校通級のイメージ】

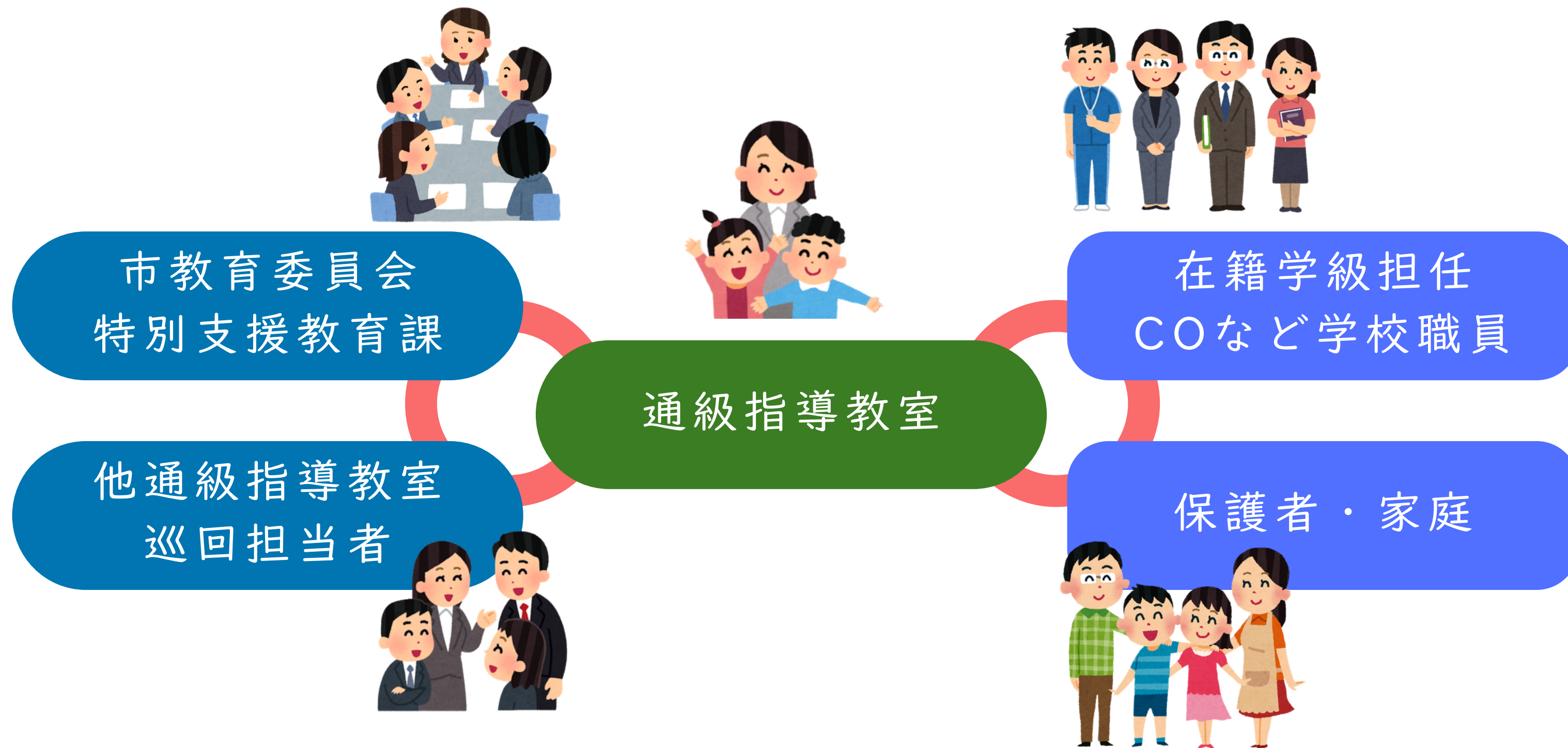


【巡回指導のイメージ】



Ⅱ 実践内容

巡回指導における連携について



Ⅱ 実践内容

Ⅰ. 市教育委員会、他巡回指導担当者との連携

巡回担当者会での情報共有

市教育委員会
特別支援教育課

他通級指導教室
巡回担当者

通級指導教室

- 新潟市教育委員会（特別支援教育課）と巡回指導の担当で、情報共有を行なっている
- 2ヶ月に1回程度、現在も対面で行なっている



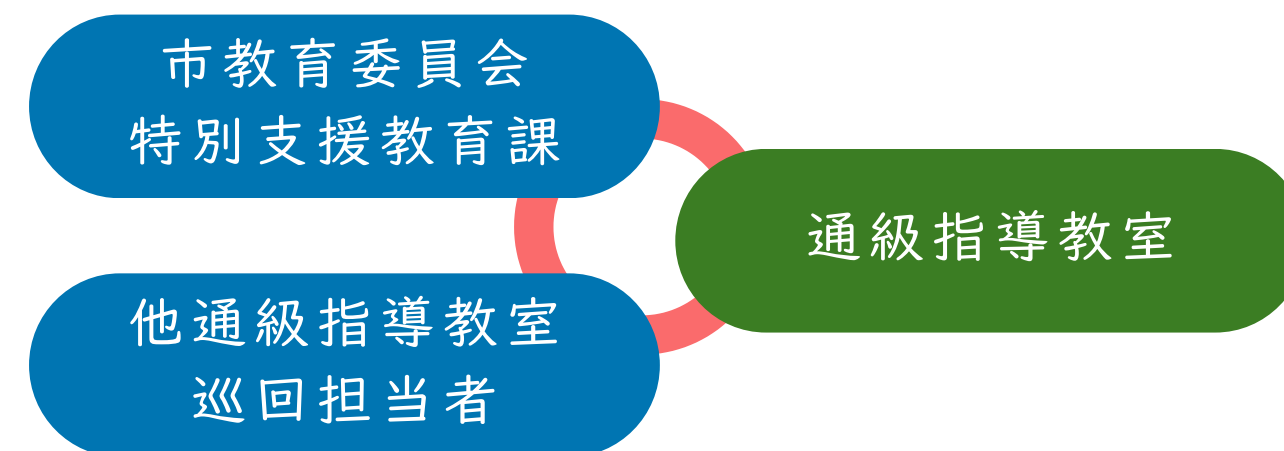
Ⅱ 実践内容

Ⅰ. 市教育委員会、他巡回指導担当者との連携

準備段階での主な話題

- 使用教室…場所の選定、確認
- 教室の施設・設備
- 担当者の勤務の扱い・旅費
- 巡回日の決定、時間割編成
- SSC（ソーシャルスキルコーチ）の勤務について
- 職員、児童、保護者への周知
- 職員用PC、学習用タブレット端末の扱い

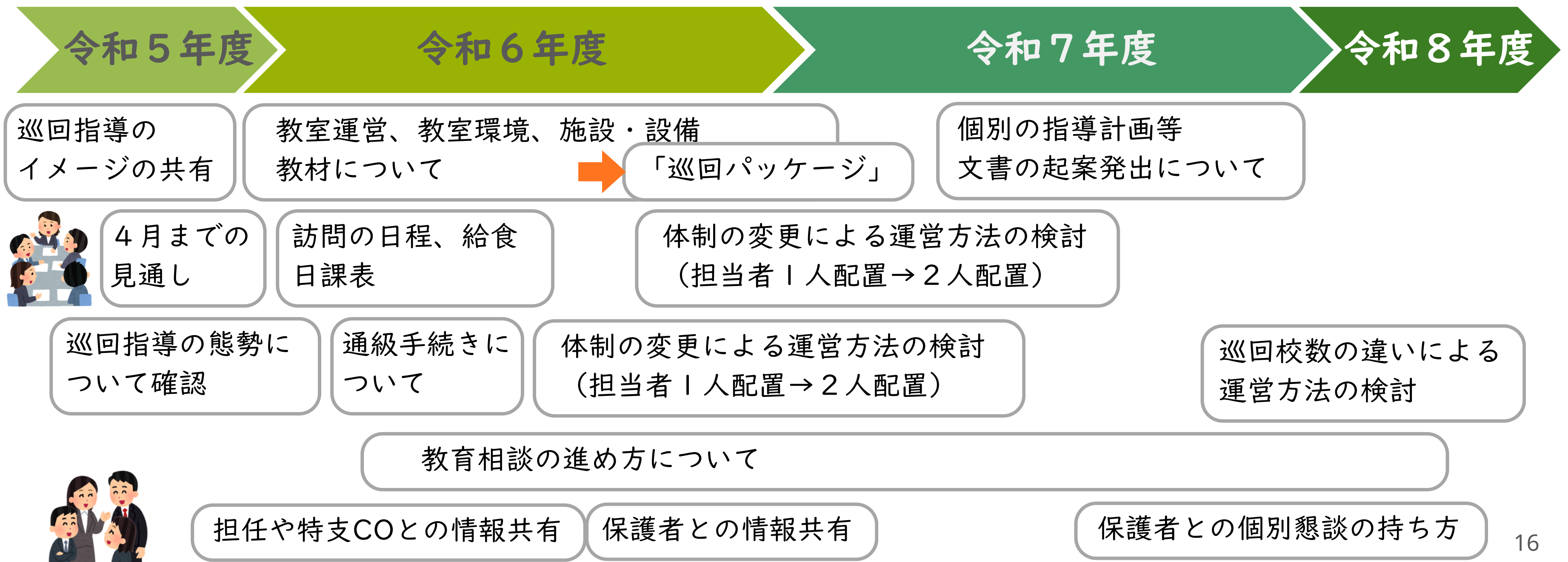
など



Ⅱ 実践内容

Ⅰ. 市教育委員会、他巡回指導担当者との連携

情報共有・検討の主な内容



Ⅱ 実践内容

Ⅰ. 市教育委員会、他巡回指導担当者との連携

「巡回パッケージ」

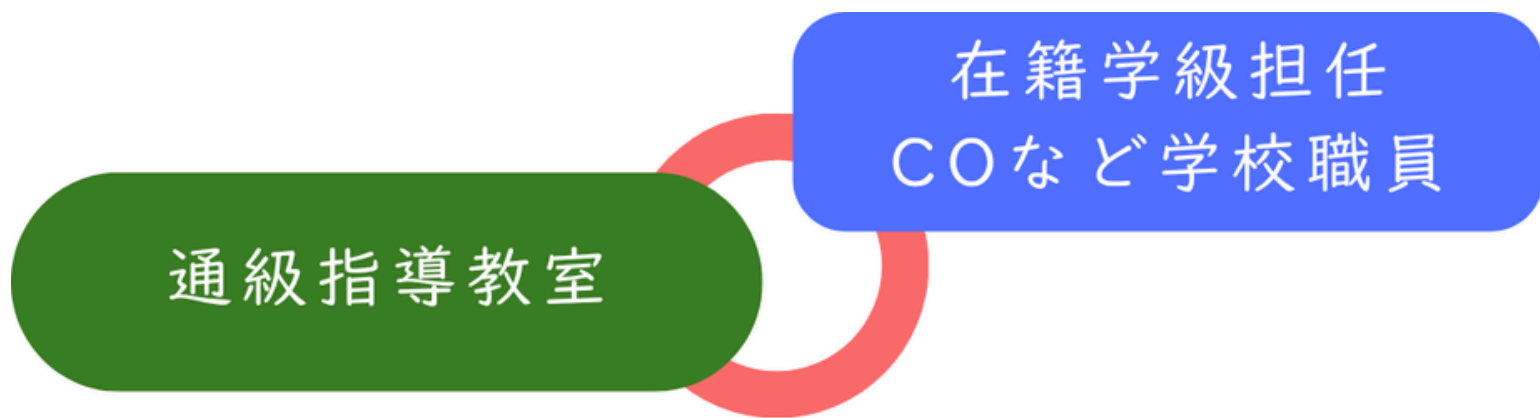
- 次年度以降に生かせるよう、明文化
- ある程度、共通理解しておくこと
- 新しく巡回通級を設置する学校の管理職や担当者がスムーズに準備を進めるための手引きとして作成

巡回パッケージの内容	
1	通級指導教室の名称「まなびの教室」
2	通級指導教室の運営 ・巡回日の決定 ・担当者の勤務の取り扱い、給食 ・通級指導教室の物品の購入 ・情報共有
3	施設・設備
4	必要備品・物品
5	消耗品
6	教室のレイアウト例
7	巡回校で用意するもの
8	巡回校特支コーディネーターの通級にに関わる業務
9	巡回教室 年間の動き

II 実践内容

2. 在籍校との連携

教室運営を支える連携



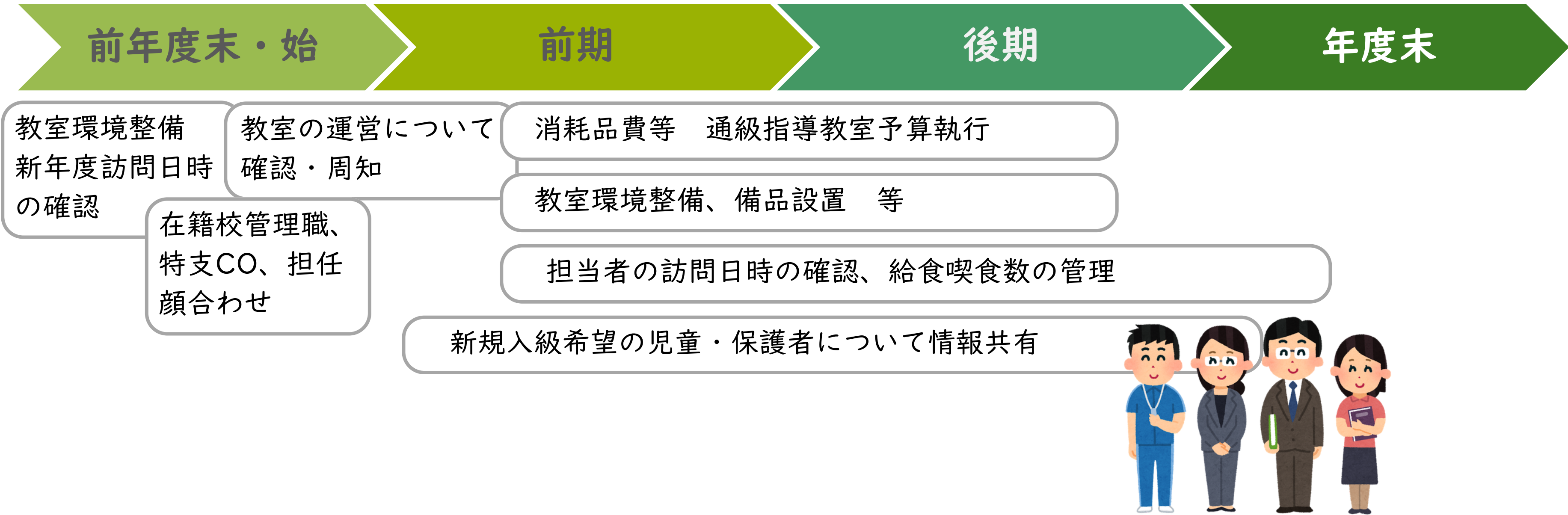
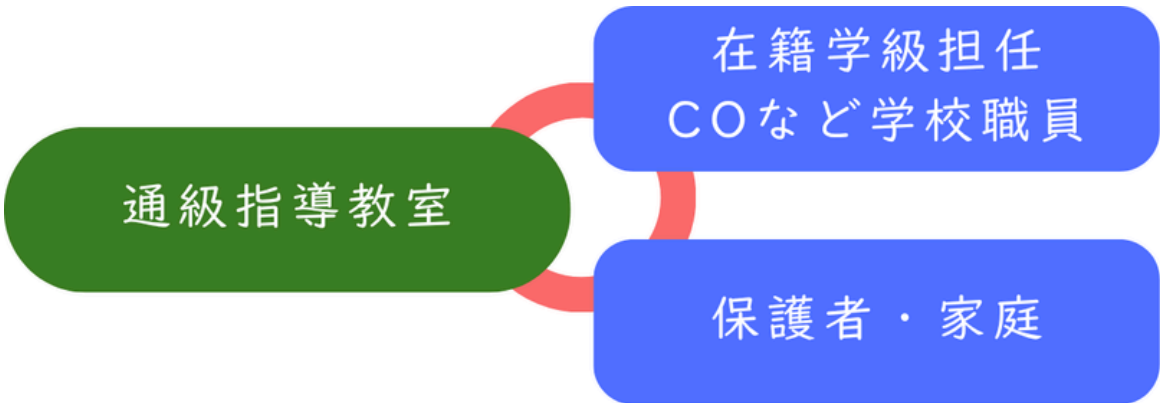
- 多くの職員の理解と協力のもと、教室を運営することができている

教室運営を支える連携	
管理職	総括
事務職員	会計
用務員 教員業務支援員	備品設置、教室環境整備
特支CO	消耗品費発注など予算執行手続き 特別支援教育学校体制 連絡調整、手続き
養護教諭	児童について
給食担当	担当者の喫食について

II 実践内容

2. 在籍校との連携

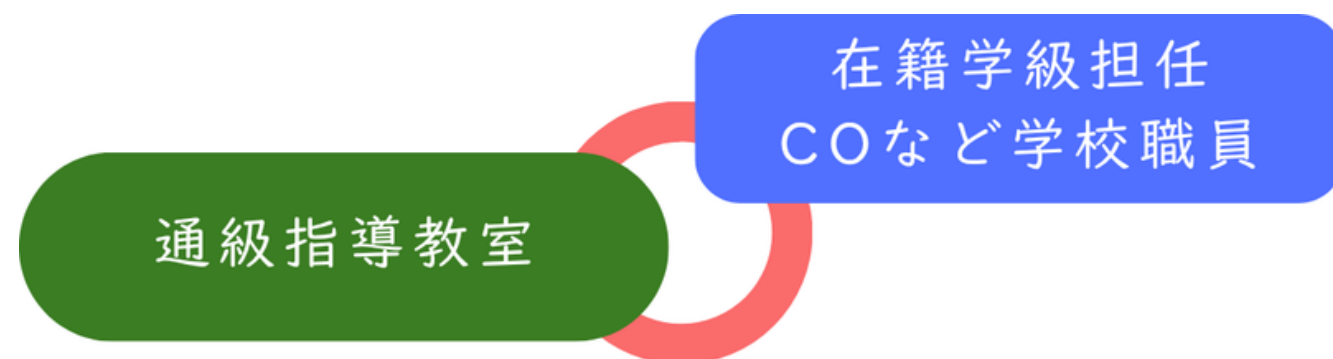
年間のおもな流れ（教室環境、運営）



Ⅱ 実践内容

2. 在籍校との連携

特支CO、学級担任との情報共有



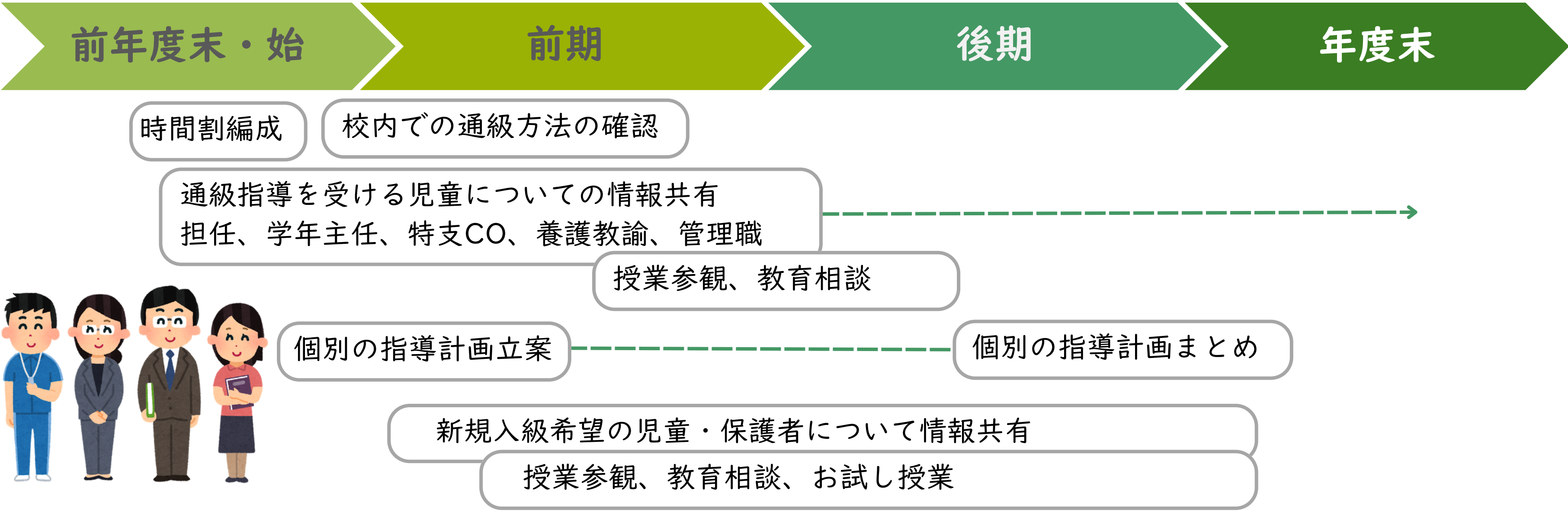
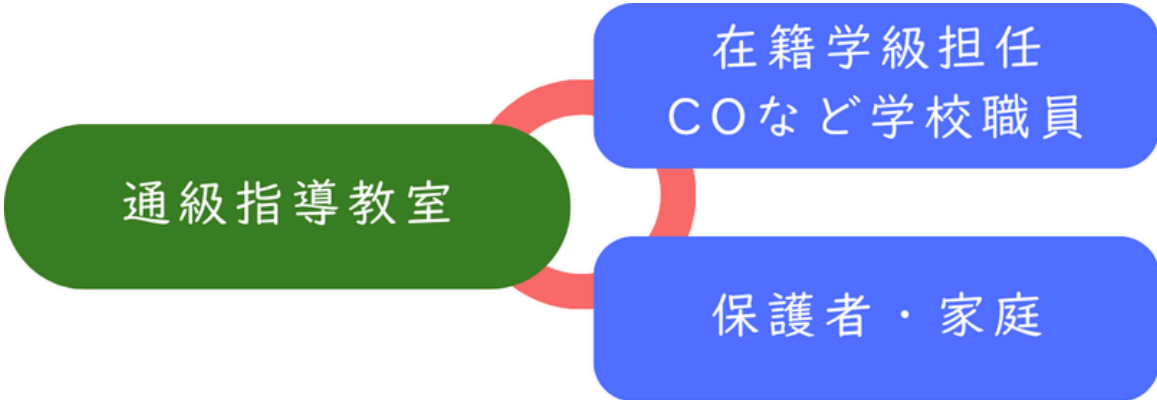
- 休み時間など、直接話せる
- 1週間に1回ではあるが、
通級からはその日の様子を、
学級担任からは1週間の様子や保護者とのやりとりなど
タイムリーな情報交換ができる



II 実践内容

2. 在籍校との連携

年間のおもな流れ（通級指導に関わって）



Ⅱ 実践内容

3. 保護者との連携

情報共有の方法として

- これまでは、送迎の際、授業を参観する保護者が多かった
- 巡回指導をすることで送迎がなくなり、直接顔を合わせる機会が減ってしまった



- 連絡ファイルの記述をこれまでよりていねいに
- 個別懇談の機会の工夫
- 授業参観のおすすめ

通級指導教室

保護者・家庭



II 実践内容

3. 保護者との連携

連絡ファイル

- 連絡ファイルの記述をこれまでよりていねいに
- 活動の様子だけでなく、
 - ・指導の意図、重点
 - ・それに対する評価（児童の様子のとらえ）を伝えることができるように
- ワークシート、写真なども
- ロイロノートでワークシートなどを共有することもできる

まなびのめあて		がんばったところを見つける	
今の気分は？		    	
	よてい	学習したこと	授業の様子など
1	はじめの会	あいさつ 今日やること めあてのかくにん 今の気分	前半、これまでの学習のふりか りをしました。「まなびにくるのよ とて楽しみだった」と言ってくれ られしかったです。「成長したこと」の時に 「自分ではよく分からないけど、先生が 最近(暴言)言わなくなったね」と 言ってくれた」と言っていました。 先生方や家の人が...てんのが、 フィードバックしてくれていることが 伝わって自信になっているよう です。
2	スキル1	まなびの学習 ふりかえり	
3	スキル2	生活の中の優先順位 クラスのこと	
4	なかよしゲーム	どうぶつしょうぎ	
5	終わりの会	ふりかえり あいさつ	

ふ り か え り	まなびのめあて	◎ ○ △
	やったこと, がんばったこと, わかったこと, 考えたこと, おずかしかったこと	
	まねの2週にあたってことを相談して	
	聞いてくれてありがとうございました。	

おうちの方から	担任の先生から

★次回は 10月15日(水)曜日

荻川小学校 0250-25-2171(学校代表)

II 実践内容

3. 保護者との連携

個別懇談の機会の工夫

- これまでは、夏休みに拠点校で行っていた
 - ・巡回指導になる前は、他校の保護者も拠点校に来てもらっていた
 - ・昨年度は、随時必要に応じてそれぞれの在籍校で行った
- 今年度は、学校設定の個別懇談に合わせて、児童の在籍校（まなびの教室）で行った
 - ・児童の在籍校各校の学校設定個別懇談期間
 - ・各校特支CO、担任に日時の調整等をお願いした
 - ・担任との面談の前後にまなびの教室での面談を行った
 - ・学級での様子を聞いてきたばかりの保護者と課題を共有することができた

Ⅱ 実践内容

3. 保護者との連携

保護者からの問い合わせへの対応

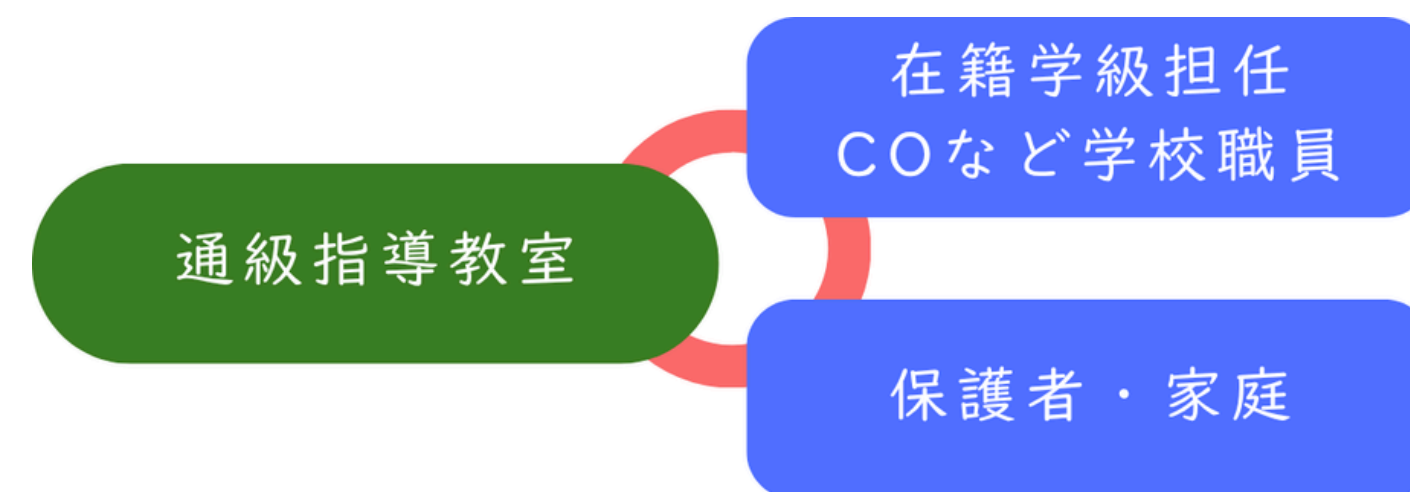
保護者

- 巡回通級になり、保護者の送迎の負担がなくなった
- 我が子の通う学校内にできたため、関心をもつ保護者が増えた

学校

- 児童の「学びの場」の選択肢として、話題にやすくなった

- 「まなびの教室」について、詳しく聞きたい。」

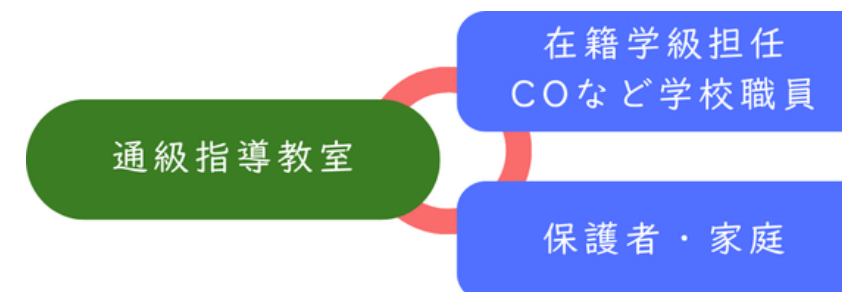


II 実践内容

3. 保護者との連携

保護者からの問い合わせへの対応

- まなびの教室での指導を希望する保護者、児童本人へ学習内容などを伝える機会を設定
- 授業時間内での通級、教科の指導との違いなど具体的に説明
- 児童本人と保護者で体験授業も受けてもらう
- 児童も保護者も納得して、通級指導を受けるかを検討
- 前向きな学びへ





「まなびの教室」

「まなびの教室」は、週に1回程度通って学ぶ教室通級指導教室の一つです。通常学級での学習や活動におおむね参加できているお子さんに対して、学校生活や学習での困り事や課題に合わせて、特別な指導を行っています。

令和6年度から、荻川小学校を拠点校として、新津第二小、結小、阿賀小への巡回指導が始まりました。

まなびの教室ってこんなところ【発達障がい通級指導教室】

学校生活で、周りの人と一緒に学習したり、気持ちよく過ごしたりすることに心配があるお子さんのための学習の場です。

どんなお子さんが通っているの？

具体的な姿としては、

- *自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりすることが苦手
- *勝ち負けや順番にこだわって、けんかになってしまうことが多い
- *怒り、不安などの気持ちを切り替えることが難しい
- *落ち着いて学習することが難しい、気が散りやすい
- *繰り返し練習が必要なことや苦手なことに取り組むことが難しい
- *聞く・話す・読む・書く・計算する・推論するなど、特定の学習が難しいなど様々です。

どんな学習をするの？

お子さんの心配事や困っていることに合わせて、小グループや個別で学習します。

【学習内容の例】

- *安定した気持ちで過ごすための学習
- *人間関係づくりやコミュニケーションの学習
- *自分にあった学習のやり方を見つける学習

など、お子さんに合わせて計画します。

通級指導教室ってこんな仕組みです

①まなびの教室に通う時間は、保護者の方や在籍校の先生と相談して決めます

基本的には、校内で通級しているお子さんは午前中に、校外から通級されるお子さんは午後をお願いしていますが、ご相談に応じます。正規の授業と同じ扱いになりますので、授業を抜けても欠席にはなりません。

②保護者の方の参観をお願いしています

まなびの教室では、学習に付き添っていただき、お子さんの学習の様子を見ていただくようお願いしています。他校から通級されるお子さんの送迎にかかわる交通費は「特別支援教育就学奨励費」から支給されます。

③ご家庭や担任の先生と連携して指導を計画していきます

お子さんの学校や教室での様子や必要な情報などを共有して、指導内容を計画していきます。そのため、在籍校（学級）の訪問や、保護者面談を行います。また、まなびの教室での学習の様子は、連絡ファイルなどを通じてお知らせします。

【お問い合わせ】

新潟市立荻川小学校 (代表) 0250-25-2171
まなびの教室（発達障がい通級指導教室）（直通）0250-23-0210

Ⅲ 成果と課題

Ⅰ. 成果

在籍校の先生方より

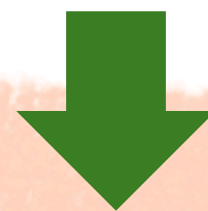
(R8年度在籍校アンケート)

- 通級指導教室が、児童や職員にとって身近になった
- より多くの職員の視点で、児童理解ができる。
- 巡回指導になったことで、日常的に、通級・学校それぞれの様子を共有しやすい

保護者より

(R6年度保護者アンケート)

- 送迎の負担がなくなったことが、ありがたい
- 子どもの学校の中にできたことで利用しやすい
- 学校の様子（学習、生活、友達関係など）を見ていただけて、ありがたい

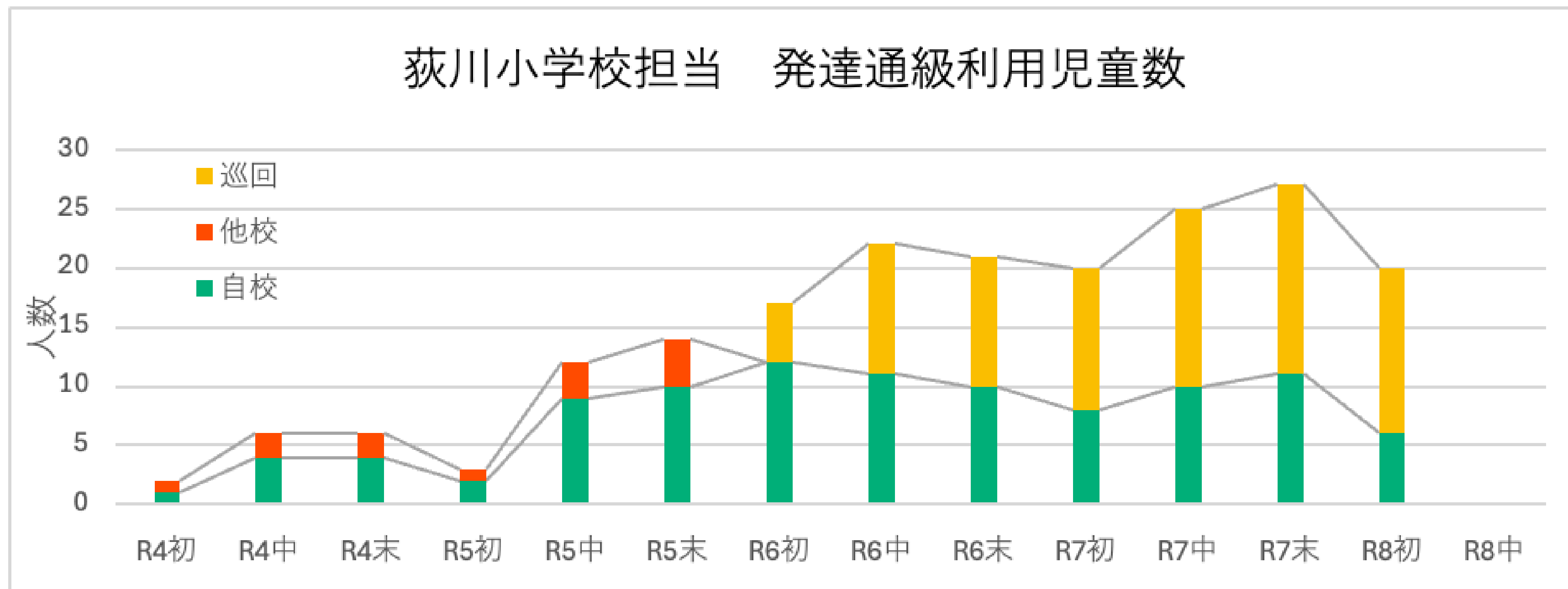


通級指導についての話題を出しやすい
保護者も通級指導に関心をもつ

Ⅲ 成果と課題

Ⅰ. 成果

通級を利用している児童数の推移



Ⅲ 成果と課題

2. 課題

担当者の負担

○ニーズの増加＝担当時数、教育相談件数の増加



○巡回指導担当の教室は2人体制に



○準備、打ち合わせ
＋移動のための時間



○指導枠の制限（年度途中で指導開始が難しい）

○教室参観や教育相談の時間の不足



Ⅲ 成果と課題

2. 課題

在籍校の先生方より

- 指導枠の不足←今後のニーズへ対応できなくなるのでは…
- 通級利用児童が多く、打ち合わせ等も含めた時間の調整が難しい
- 児童について、直接、定期的に、情報共有できる時間がもっと取れると良い
- 普段の教室の様子を参観してもらいたい

打ち合わせ、教育相談、
教室参観の時間も考慮した
時間割編成の工夫

Ⅲ 成果と課題

2. 課題

職員、保護者、児童の理解

- 毎年入れ替わる職員への周知
- 保護者への周知
- 通級指導を認める学級・学校の雰囲気づくり



どの子も学びやすく
過ごしやすい学級・学校

- ・ 定期的な研修会の実施
- ・ 理解教育に関わる連携
- ・ 教育相談の工夫

第2分科会通級による指導（発達障害通級）

巡回指導における 連携の在り方



ご清聴ありがとうございました